

# 土木学会北海道支部の取組紹介 ～VISIT事業～

若手会員パワーアップ小委員会 北海道支部委員  
中山 直智（日本工営株式会社）

0. はじめに
1. VISIT事業とは
2. VISIT事業の特徴
3. VISIT事業のメリット
4. 課題と今後の展開

# 0. はじめに

## 発表の経緯

目的

若手技術者の学会活動、学会全体の活性化を目指す



課題

学会に入会することのメリットが伝わっていないのでは？  
“学会”とは発表の場があれば良いのでは？



発表

発表の場を提供する以外にも、様々な取り組みを実施  
土木学会の活動を知ってもらい、学会活動のメリットを知ってもらう

# 1. VISIT事業とは

## VISIT事業（学生の職場訪問）の概要

- 各大学や高専の地元企業への訪問や現場見学を**少人数の学生**で実施
- 近年は、参加学生からの要望を受け、見学後**若手社会人との意見交換会**を開催
- 学生会員の活動として**土木学会北海道支部が独自に実施**
- 土木学会の事業だが、参加は非会員でも可能。

## 事業の目的

- 専門科目選択や就職活動、将来の進路決め、職業意識の向上に寄与
- 土木の魅力や土木学会入会メリットを知ってもらい、学生会員の増加、その後の一般会員の増加につなげる

# 1. VISIT事業とは

## 事業開始の流れ

- 学生会員増強は重点課題であるが、土木学会に対する理解度やニーズが不明
- 北海道支部としても学生会員数が少なく増強が必要  
(学生会員比率(H19) : 全国2割、北海道1割)
- 平成19年度に学生会員に対してアンケートを実施

アンケートの結果・・・

# 1. VISIT事業とは

- 学会誌によって他部門の情報を得ることが出来て良い  
(情報の入手)
- 研究発表やプレゼンの機会が多く、良い経験となった  
(自己研鑽)
- 専門的な研究をしている人々と知り合う機会があって良かった  
(人脈形成)

一方で

- 入会するメリットが感じられない
- 会費が高い
- 技術・知識習得・インターンシップ機会を提供してほしい

専門課程で学ぶ科目の選択サポート } が必要  
就職活動のサポート }

平成20年度よりVISIT事業開始

# 1. VISIT事業とは

## 平成27年度の実施概要

実施日：平成27年8月21日（金）

参加者：一般学生13名、学生広報委員6名、広報幹事3名

見学場所：望月寒川、定山溪ダム

交流会参加者：入社・入庁5年目以内を中心とした12名

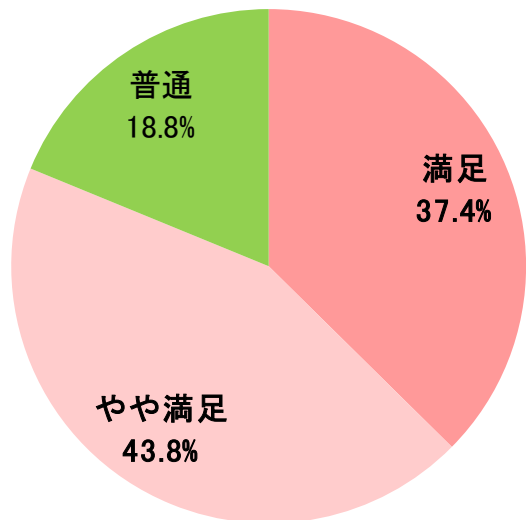


望月寒川改良工事現場

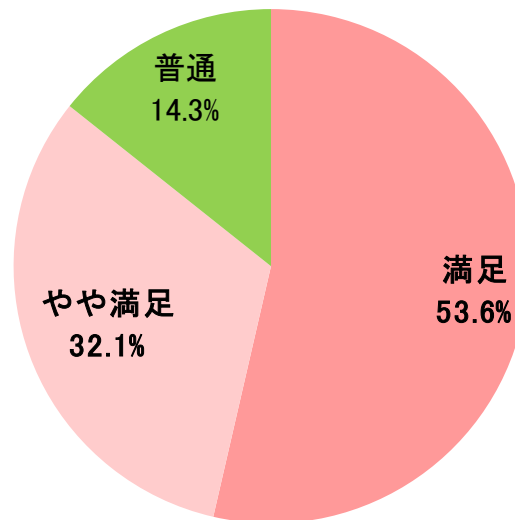


定山溪ダム

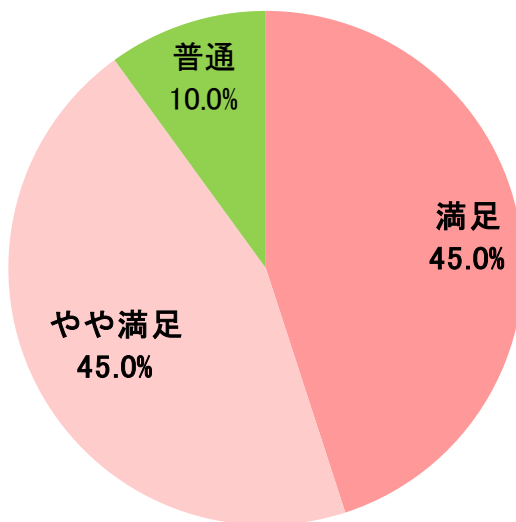
# 1. VISIT事業とは



▲見学会の総合評価



▲交流会の総合評価



▲VISIT事業の総合評価



# 1. VISIT事業とは

年度	訪問先
20	創成川アンダーパス連続化工事現場 札幌駅前通地下歩行空間整備事業工事現場 札幌市役所、(株)ドーコン
21	札幌駅前通地下歩行空間整備事業工事現場 札幌大橋下部工事現場 豊平川床止工事現場 独立行政法人寒地土木研究所(実験棟の見学)
22	当別ダム建設工事現場 北海道開発技術センター企業訪問 ウトナイ湖野外セミナー参加 新当別大橋(函館江差自動車道)上部工事現場 北見道路における改良工事や橋梁工事現場
23	新送毛トンネル建設工事現場 白川第3送水管新設工事現場 倶多楽湖公園線改築工事現場 北海道新幹線建設工事現場 網走港施設(帽子岩ケーソンドック)

# 1. VISIT事業とは

年度	訪問先
24	札幌大橋工事現場 倶多楽湖公園線改築工事現場 函館港北埠頭改修工事、函館漁港修復工事 橋梁上部工事現場(北海道横断自動車道)
25	道路交通監理室(国土交通省北海道開発局) 独立行政法人土木研究所寒地土木研究所 倶多楽湖公園線改築工事現場 北海道横断自動車道工事現場、三豊橋上部工事現場
26	札幌大橋上部工現場 新石狩大橋下部工現場 JR北海道ボックスカルバート現場
27	望月寒川改良工事現場、定山溪ダム

# 2. VISIT事業の特徴

- 土木学会と学生会員が一体となって実施
- 学生会員の中から学生広報委員を選定し、広報や参加者の募集・取りまとめ、結果報告等を実施
- 委員は、参加者募集のためポスターをデザインし学内での掲示、授業や研究室でのアナウンス等を実施



# 3. VISIT事業のメリット

## ～企業側～

### ①企業のPR効果

- 学生は事業への応募と参加を通じて、企業の業務内容や求める人材等を把握可能。
- そのような機会を提供することは企業側の**イメージアップ**にもつながる。

### ②優秀な人材の発掘

- 学生が興味を持つ点や就業意欲を高める方法等が見出せれば、**優秀な人材の発掘**に結びつく採用戦略が可能。

# 3. VISIT事業のメリット

## ～学生側～

### ③ 専門課程の科目選択サポート

- 専門課程の科目選択において、より**明確なビジョン**が見えてくる。

### ④ 学生の職業観・就労意識の形成・向上

- 実務を見学・体験することで**職業観や就労意識を高める**ことができる。
- 企業が求める要件と職務内容を明示し、学生と話し合いながら**現場のニーズにあった意見交換**が可能。

### 3. VISIT事業のメリット

#### VISIT事業に対する参加者の意見

- 土木系の学問に取り組む意欲が高まった。
- 職業観の形成・就労意識の向上に役立った。
- 現場等で働く若手技術者の話を聞きたい(交流会の開催)。
- 交流会は、将来の進路決定や就職活動、心構え等学生に役立つ場としたい。
- 土木学会から各大学へVISIT事業等に対する協力要請を出して頂けると助かる。
- VISIT事業のHPを見るのは、やる気のある学生だけなので報告書を各学校に配布すれば広報活動になるのではないか。

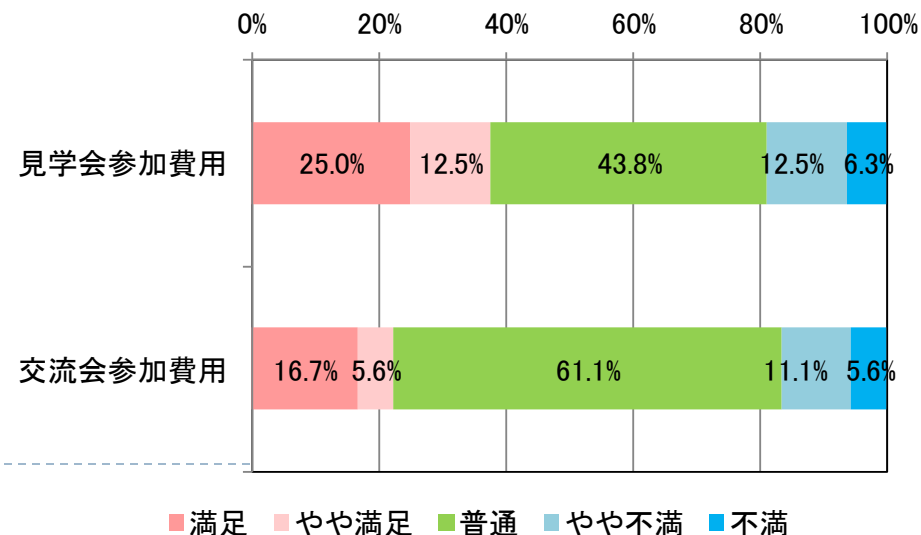
# 4. 課題と今後の展開

## VISIT事業の課題①

- 授業優先のため、授業の多い2・3年生の参加が難しい。
- 授業のある学生は、欠席扱いとなってしまう。
- 交通費等の学生の金銭的負担
- 学校の少ない遠方の地区は学生広報委員の負担が大きい



夏休み期間中、札幌地区1箇所での開催に変更  
しかし、交通費負担のため参加者が限られる



## 4. 課題と今後の展開

### VISIT事業の課題②

- VISIT事業のみでの、会員増強は困難



土木学会が**学生のニーズを汲み取って活動**していること、**学会発表以外にも有益な取り組み**を実施していることを広く知ってもらうことで会員増強に繋がるのではないかと

### 今後の展開

- 引き続き学生広報委員に企画立案してもらう
- 今年度の社会人との交流会は好評だったので継続する